

相原高等学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として定められた不祥事ゼロプログラムを実施し、その取り組みを次のように検証した。今年度は、次の9項目を重点課題として具体的な行動計画を作成・実施し、事後に検証を行った。

(1) 校務外非行の防止（法令遵守意識の向上）【28年度必須事項】

目標 公務外非行を防止し、発生をゼロにする。

行動計画

○職員行動指針や不祥事防止にかかる主要な項目について、周知徹底を図る。

検証結果

○法令順守、服務規律の確保について職員啓発資料や事故事例で研修した。

(2) セクハラ・わいせつ行為の防止【28年度必須事項】

目標 部活動やその他におけるわいせつ・セクハラ行為防止の徹底を図る。

行動計画

○職員会議時に研修を実施する。

○顧問会議において、注意喚起をし、教員にとって気軽な行為でも、生徒にとって気になる行為があることを説明し、研修する。

検証結果

○職員啓発資料、セクハラセルフチェックシートを配布してセクハラ・わいせつ行為の防止について注意喚起した。

○部活動の顧問会議においてセクハラ防止について徹底を図った。

(3) 体罰、不適切な指導の防止【28年度必須事項】

目標 体罰、不適切な指導の防止を徹底し、発生をゼロにする。

行動計画

○体罰、不適切な指導の防止について研修を実施する。

○顧問会議で注意喚起し、体罰、不適切指導の防止の徹底を図る。

○部活動総点検の日を設けて、顧問、生徒双方に部活動チェックシートを記入してもらい、体罰・不適切な指導の点検を図るとともに、早期発見に努める。

検証結果

○職員啓発資料を用いて、体罰、不適切な指導の防止について研修を行なった。

○部活動の顧問会議において体罰防止について徹底を図った。

○部活動総点検の日にチェックシートを記入してもらい、体罰・不適切な指導の点検を図った。

(4) 成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止【28年度必須事項】

目標 通知表等の作成、成績処理、テスト、調査書、推薦書等の書類の作成及び取扱いに係る事故をゼロにする。

行動計画

○成績処理・通知表等の作成に係るマニュアルに沿って作業点検を実施する。

○会場の整備を早めに徹底し、全職員が「テストの諸注意」を同じ視野で見ることができるよう、毎回の確認を行う。

○進路指導グループ、3学年で調査書、推薦書等の書類の作成及び取扱いの確認を行い、職員会議で研修を実施する。

○調査書等進路関係の書類は、複数体制でチェックを行う。

検証結果

○テスト実施には早めに会場整備をした。「テストの諸注意」を毎日確認したが、徹底しきれない面があったため、マニュアルを改正し、再度全職員に注意を行なった。

○毎学期の成績処理ではマニュアルに沿って全職員で点検等の作業を実施した。

- 成績処理、通知表・調査書作成に関わる事故防止について職員啓発資料や事故事例をもとに研修した。
- 進路関係書類は、複数体制でマニュアルに沿ってチェックを行った。

(5) 会計事務等の適正執行

目標 私費会計基準に則った会計処理を行う。

行動計画

- 私費の徴収・執行等に関する担当者研修を実施する。
- 私費会計基準に則った会計処理に関する研修を行う。
- 私費の管理職による点検を実施し、監査を年2回実施する。
- 財務事務調査の結果を職員会議で報告し、その内容を周知し改善を図る。

検証結果

- 私費会計基準に則った会計処理に関する研修を、私費担当者及び全職員に実施した。
- 管理職による帳簿等の点検及び会計監査を年2回実施した。
- 財務事務調査における指導内容を職員会議で報告して、私費会計の適正な処理について再確認の研修を実施した。

(6) 個人情報等管理、情報セキュリティ対策

目標 生徒の個人情報の紛失及び流出等の不祥事防止を徹底する。

行動計画

- 生徒の個人情報の扱いについての基本的ルールを周知する。
- 生徒の個人情報を収集した場合、未登録になっていないか確認する。
- テスト解答用紙等の紙媒体での持ち出しの際、クラス、科目、枚数まで記入した上で許可を出すことを確認する。
- 携帯電話へ登録してある生徒の個人情報の消去について確認する。
- カウンセリング、ケース会議、生徒事故に係る情報の管理を適切に行う。

検証結果

- 生徒の個人情報の扱いについての基本的ルールを年度当初に周知、確認した。
- テスト解答用紙の持ち出しは、許可願いでクラス、科目、枚数を確認して許可した。
- 携帯電話へ登録してある生徒の個人情報の消去について管理職が確認を行なった。
- 生徒の個人情報については、取扱いに不十分な点があったため、全職員に改めて指導をして、適切な扱いと保管場所や保管方法を確認した。

(7) 酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

目標 交通事故、酒酔い、酒気帯び運転の発生をゼロにする。

行動計画

- 飲酒運転、酒気帯び運転防止の徹底を図る。
- 忘年会などの時期の前に注意を喚起するために職員会議時に研修を実施する。

検証結果

- 酒気帯び運転を含む飲酒運転への同乗行為の処分事例について研修した。
- 年末年始における教職員の綱紀保持について事故防止の研修をした。

(8) 入学者選抜に係る事故防止

目標 入学者選抜に係る事故をゼロにする。

行動計画

- 入学者選抜業務の手順やチェック項目の確認の徹底を図り、実施要項・マニュアル等を整備する。
- 校内研修を実施し、適正な業務遂行と絶対に事故を起こさないチェック体制を、職員に周知徹底する。
- 選抜業務では、複数での点検・確認を徹底して行う。

検証結果

- 適正な業務遂行とチェック体制について、資料を用い研修を実施した。

○入学者選抜における選考基準やマニュアルによって点検体制等の業務手順やチェック体制の再確認を行った。

○選抜業務では、マニュアルに従い、複数での点検・確認を徹底して行った。

(9) 業務執行体制の確保

目標 業務執行における不祥事をゼロにする。

行動計画

○日常的に「報告・連絡・相談」を全職員に喚起する。

○日頃より職員間での情報の共有化推進に努め、円滑な業務体制をつくる。

検証結果

○年度当初、神奈川県職員行動指針を全職員に配布し、内容について再確認した。

全体を通しての検証結果

不祥事を未然防止する観点から、(1)から(9)までの各項目について、それぞれ研修を行い、注意喚起、指導を行った。今後も気を緩めることなく常に適正な行動を行うように確認をし、職員が不祥事防止を自らのこととして捉えられる取組みを行っていきたい。